

令和5年度 有馬高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守の意識の向上	全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。	神奈川県公立学校教職員倫理に関する指針を定期的に確認するなど、意識の啓発を図るとともに、周知・指導を行い、公務員としての自覚を促した。研修などを通して事例をあげ、公務外での非行を未然に防止した。 目標を概ね達成することができた。
職場のハラスメントの防止	パワハラ防止指針等の趣旨を踏まえ、パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとするハラスメントに対する意識を高め、ハラスメント防止に努める。	ハラスメント防止の啓発資料を配付してハラスメントの理解を図り、セルフチェックを行うことでハラスメント防止の意識向上の徹底を図った。また、教育実習におけるハラスメント防止の意識を職員間で共有した。 目標を概ね達成することができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権に配慮するとともに、セクシャル・ハラスメント、わいせつ行為を防止する。	職場内から不祥事を出さないという共通理解のもと、わいせつ事案防止の啓発資料を活用し、わいせつ行為防止の意識向上に努めた。研修会等では、ロールプレイングなどの研修を盛り込むなど、生徒の人権に配慮をすることを考えた研修会とした。また、生徒とのSNS等の利用の禁止、複数対応を徹底するなど環境整備にも努めた。 目標を概ね達成することができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰やパワハラ、不適切な指導を防止する。	職員への面接等を行うことで、全職員が体罰によらない指導への理解を深め、繰り返し注意喚起を行った。人権研修会では、外部講師を招いての研修を行うなど、生徒一人ひとりの人権を尊重した指導に努める意識の構築を図り、全教職員の共通理解が得られた。 目標を概ね達成することができた。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に関する業務に適切に取り組み、事故を未然に防止する。	入学者選抜マニュアルに即した研修会を丁寧に実施し、適正な業務遂行を意識し、業務に努めた。資料の管理も鍵のかかる金庫やキャビネットで厳重に保管し、管理を徹底した。正確な採点にも努め、公正な入学者選抜を実施した。 目標を概ね達成することができた。

成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理に関する業務に適切に取り組み、誤りのない進路関係書類の作成・点検及び取扱いの徹底を図り、事故防止に努める。	職員への事前の業務内容の周知とマニュアルに沿った適正な成績処理を行った。推薦に関する資料・書類の作成時は、必ず複数名で複数回の点検を行う手順を徹底した。書類等の管理等については、個人情報の観点からも、漏洩、紛失、滅失等をしないよう指定された場所での保管を徹底した。 目標を概ね達成することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。	漏洩、紛失、滅失等をしないよう、徹底した注意喚起を促した。個人情報等は指定された場所での保管を徹底し、持ち出す場合においては手続きを徹底し、未然に不適切な使用を防止した。 目標を概ね達成することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故防止に努める。	ポスター掲示や職員啓発資料等を活用し、適宜交通法規順守の啓発活動を行い、飲酒運転防止や交通法規の遵守に努めるよう注意を喚起した。 目標を概ね達成することができた。
業務執行体制の確保	円滑な校務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。	学年及びグループ業務等について、チームで取り組む意識を職員間で共有した。グループ業務のデータの共有化を図り、円滑かつ適切な業務執行体制を推進した。資料やデータの管理の一元化については課題を残した。次年度も業務執行の体制は継続した取組が必要である。 目標を概ね達成することができた。
財務事務等の適正執行	会計事務等を適正に執り行い、事故の発生を未然に防止する。	私費会計ハンドブックを配付し、会計の基礎知識を周知した。定期的に会計事務における不祥事防止会議を行い、事故の事例をあげるなどして、適正な会計事務の執行を実現した。執行については、関係職員で確認をすることを徹底した。 目標を概ね達成することができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

神奈川県職員行動指針を踏まえ、不祥事の発生をゼロにすることを目的として令和5年度不祥事ゼロプログラムを適切に実施した。実施結果からはゼロプログラム全体を概ね達成することができたと考えられることができる。しかし、県下における事故不祥事の報告が絶えないことを考えると、他人事と考えることなく今後も職員への指導を徹底し、職員の意識向上に努めていきたい。次年度においても、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針を踏まえ、法令順守の意識の向上とわいせつ事案根絶に焦点を当て、重点的に取り組みたい。また、研修機会を多く設けることにより、不祥事の未然防止と職員の公務員としての自覚を促していきたい。